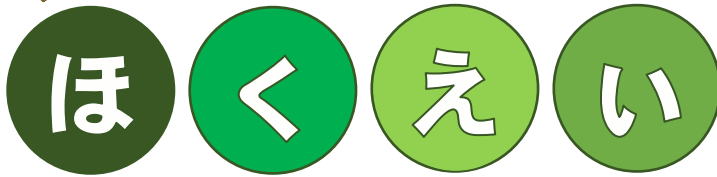




帯広市立北栄小学校 学校便り 4号

家庭や地域と共にある学校～共育(きょういく)～



《めざす子ども像》

- ▶ 自らすすんで学ぶ子ども
- ▶ 互いを認め合い自分と相手を大切にする子ども
- ▶ 健康や安全に気を付ける子ども

令和6年5月22日 発行者 柴山 敬

<http://www.hokuei.obihiro.ed.jp/>

今年度の学校経営の重点 試み・挑戦・達成感

本校では、子供の学力や体力、生活習慣などに関する課題があり、これらの課題解決を図るためには、これまでの指導等に加え、特に「人間性の向上」にも力を入れていくことが必要であると考えました。具体的には「何事にも熱心に取り組む姿勢」の育成や「支援的風土」の醸成です。こうしたことを踏まえ、今年度の学校経営の重点として次のテーマとキーワードを設定しました。

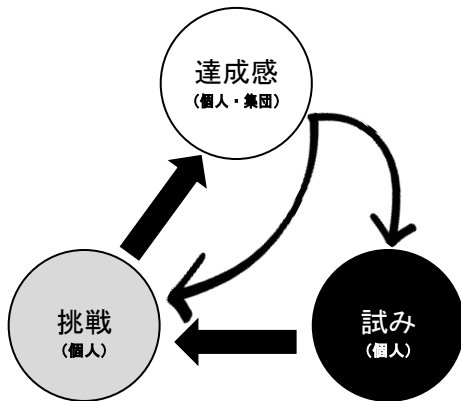
《テーマ》

家庭と連携して子供の「責任」の意識を育むとともに、意思決定して行動する姿勢を育てる

《3つのキーワード》

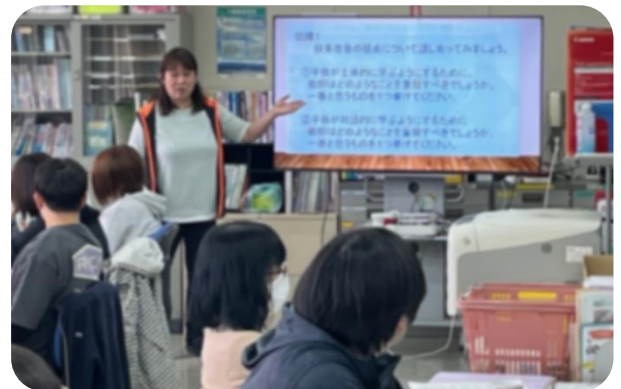
「試み」「挑戦」「達成感」

「試み」では、学校や家庭での日常生活で自分がやらなければならないことや、向き合わなければならない課題に対して(結果を問わず「一歩踏み出し行動する」という)「責任」の意識を育てる指導の充実を図ります。学校と家庭が連携し、子供が当たり前のことを当たり前にできるようになれるように支援していきます。



「挑戦」では、課題解決や目標達成に向けた取

組など、他者との関係性の中で子供の主体性を育てる機会の充実を図ります。学校の授業を通じて、子供は自分の学習の進捗や習熟度などを踏まえ、ふさわしい課題や興味のある内容を選択して取り組みます。こうした授業方法は、新しいものであり、今年度は校内研究の主題「自分らしさを生かし、ともに学ぼうとする子どもの育成」のもと、全職員で実践力の向上を目指します。



「達成感」では、子供(たち)が自身の目標達成に向けて、他者と良好な関係を築きながら意思決定して行動する姿勢を育てる指導や支援の充実を図ります。学校行事や学活、地域行事(例えばマラソン大会)などで、自身の願いや実力を踏まえて目標を設定し、目標達成に向けて取り組んでいきます。

こうした一連の指導や支援を通じて、保護者や地域の皆様とともに子供の「責任」の意識を育み、意思決定して行動する姿勢を育ててまいりますのでご理解とご協力をお願いいたします。

児童会活動が始動！
認証式と児童会総会

5月15日に認証式、16日に児童会総会が開

催され、今年度の活動が始まりました。総会では、執行部や各委員会の活動計画に関する質疑応答。議案書をもとに各学級で事前に取りまとめた質問や意見に対して、児童会長や各委員長が一つひとつ丁寧に答え、会場は熱気に包まれていました。



活動の目標や内容が決まれば、あとは「一歩踏み出し行動する」のみ。子供たちには、成功や失敗を重ねながら、主体的に取り組む姿勢や責任感をもって行動することの大切さを学んでほしいと思っています。

学校の活動環境「整いました！」
ご協力、ありがとうございました

5月11日にPTA 総務部が主催する環境整備活動があり、多くの保護者や子供たちが参加してくれました。また16日には地域の「よつば会」の方々が社会奉仕活動の一環として運動会に向けたグラウンド整備に協力してくださいました。本当にありがとうございました。

PTAの環境整備

PTAの環境整備では、花壇や農園の土起こしとグラウンドの石拾いや草取りに取り組みました。



花壇や農園の土起こしは、剣先スコップでの作業。雑草を取り除きながら進められ、最後に肥料を加えました。グラウンドの石拾いや草取りでは子供たちも大活躍。特に移植ゴテを片手に、深く根を下ろしているタンポポを懸命に引き抜こうとする姿が印象的でした。

「よつば会」のグラウンド整備

放課後のグラウンドに20名以上の会員の方々が集まってくださいました。今回の主な作業は開閉会式で児童が整列する位置を示す釘を地面に300本程度打つことでした。



本校の職員だけでは1時間以上かかる作業をわずか30分程度で終えることができました。

「いつも孫がお世話になって・・・」「運動会が終わったら釘抜き、手伝うよ」などと温かい言葉をかけてくださる方もいて、とても嬉しく思いました。

